

危険なオスプレイ来るな！ 沖縄・北海道・全土「戦場化」 の演習中止を！ レゾリュート・ドラゴン中止を！

くり返される墜落事故など安全が確認できないオスプレイの札幌丘珠飛行場飛来など、不安の声が広がる日米共同演習「レゾリュート・ドラゴン 25」演習（9/11～25）がせまります。

8月29日には防衛省が上富良野への長射程ミサイル配備を発表した（右、北海道新聞 8/30）ことと合わせ、自衛隊がアメリカの「対中国」封じ込め作戦と一体化し、沖縄・南西諸島はじめ、日本の国土全体を米軍の「ミサイル基地化」する危険な演習・ミサイル配備を危惧する声が全国に広がります。

9日・10日 連続アクションへ！

9月11日から25日にかけて、九州、沖縄や北海道舞台に行われる日米共同演習・レゾリュート・ドラゴン 25は、陸海空自衛隊と米海兵隊あわせて1万9000人が参加する過去最大の日米共同演習。

演習はその目的を「陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上をめざす」としていますが、その中心は米軍が「対中国」を念頭におく対中国海洋圧力戦略・海兵隊「遠征前進基地作戦」（EABO）と呼ばれるもので、「台湾有事」などを念頭に、沖縄・南西諸島に米海兵隊攻撃部隊が展開、同盟国軍（自衛隊）と一体となって攻撃拠点を移動しながら、中国艦隊の太平洋進出・遠海防衛を阻止するというもの。日本の国土・国民を守るどころか沖縄・南西諸島のことごとく日本列島全体を米軍のミサイル基地化し、戦場化する危険極まりないものです。

「専守防衛」を国是とし、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は…永久にこれを放棄する」憲法9条を有する我が国の自衛隊が参加すべき演習とみなすことはできません。（裏面に申し入れ書）

9日(火) 12:15 大通り西3「9の日」アクション、10日(水) 栄町行動(18:00地下鉄駅)参加を!!

道憲法共同センターNEWS

2025年9月8日 201号

北海道憲法共同センター ☎011-252-7475 FAX011-252-7483 mail: love9hokkaido@gmail.com



2025 年 9 月 5 日

防衛大臣 中谷 元 様
防衛省北海道防衛局長 掛水雅俊 様

北海道憲法共同センター 代表 齋藤 耕
護憲ネットワーク北海道 共同代表 吉井健一
安保破棄諸要求貫徹北海道実行委代表尾張聡
北海道平和委員会 理事長 石田 明義
北海道労働組合総連合 議長 三上 友衛

危険な日米共同演習「レゾリュート・ドラゴン 25」の中止を求めます

ご精励に敬意を表します。

くり返される墜落事故など安全が確認できないオスプレイの飛来など、その危険が危惧され不安の声が広がる日米共同演習「レゾリュートドラゴン 25」について、その中止を求め、下記について申し入れます。

防衛省及び陸上自衛隊の発表、報道によれば 9 月 11 日から 25 日にかけて、九州、沖縄や北海道舞台に行われる日米共同演習・レゾリュートドラゴン 25 は、陸海空自衛隊と米海兵隊あわせて 1 万 4200 人が参加する過去最大の訓練となります。

演習はその目的を「陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上をめざす」としていますが、その中心は米軍が「対中国」を念頭におく対中国海洋圧力戦略・米海兵隊の「遠征前進基地作戦」(EABO)と呼ばれるもので、「対中国」を念頭に、沖縄・南西諸島に米海兵隊攻撃部隊が展開、同盟国軍(自衛隊)と一体となって攻撃拠点を移動しながら、中国艦隊の太平洋進出・遠海防衛を阻止するというもので、日本の国土・国民を守るどころか沖縄・南西諸島のことごとく日本列島全体を米軍のミサイル基地化し、戦場化する危険極まりないものです。

「島嶼防衛」「抑止力」の説明で行われたとしても、演習の実際は、米軍の対中国封じ込め作戦への自衛隊参戦を具体化するもので、8 月 29 日に防衛相が発表した上富良野などへのスタンド・オフ・ミサイル配備もあわせ、中国を挑発し、アジアの緊張を高め、沖縄・南西諸島はじめ日本の国土・国民全体を危険に晒すことにつながるものであることは明らかであり、「専守防衛」を国是とし、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は...永久にこれを放棄する」憲法 9 条を有する我が国の自衛隊が参加すべき演習とみなすことはできません。

演習に加わり、丘珠、計根別、北恵庭、北海道大演習場、矢臼別演習場にも飛来予定のオスプレイは、2022 年以降だけ見ても 4 件 20 人の死亡事故を起こしています。北海道大演習場での自衛隊地対艦誘導弾実射演習、矢臼別演習場でのハイマース実射演習も上記「封じ込め作戦」のためのもので東アジアの緊張を高め、危険です。

昨年秋の「キーン・ソード」演習時には騒音による牛の暴走事故なども起きており、住民の安全、地域の産業にも影響が懸念されます。

日米の軍事一体化、「抑止力」強化を唱え、いたずらに近隣諸国を刺激するのではなく、憲法 9 条かし、外交の力で戦争の脅威のないアジア地域を作ることに努力すべきです。

以下につき、強く求めます。

記

1. 日本の国土・国民を守るどころか沖縄・南西諸島のことごとく日本列島全体を米軍のミサイル基地化し、戦場化する想定のある危険な日米共同演習「レゾリュート・ドラゴン 25」は中止すること。
2. 射程 500 キロメートルとされる「ハイマース」HIMARS の実射訓練は中止すること。
3. オスプレイの道内訓練を中止し、日本から完全撤去すること。
4. 演習に関し、自治体、住民説明を尽くし、演習日程、経路等を明らかにし、事故防止対策を徹底すること。

以上